

愛知県立図書館
1.12.21

編集・発行 / 広報肱川編集委員会(愛媛県喜多郡肱川町大字山鳥坂74番地)

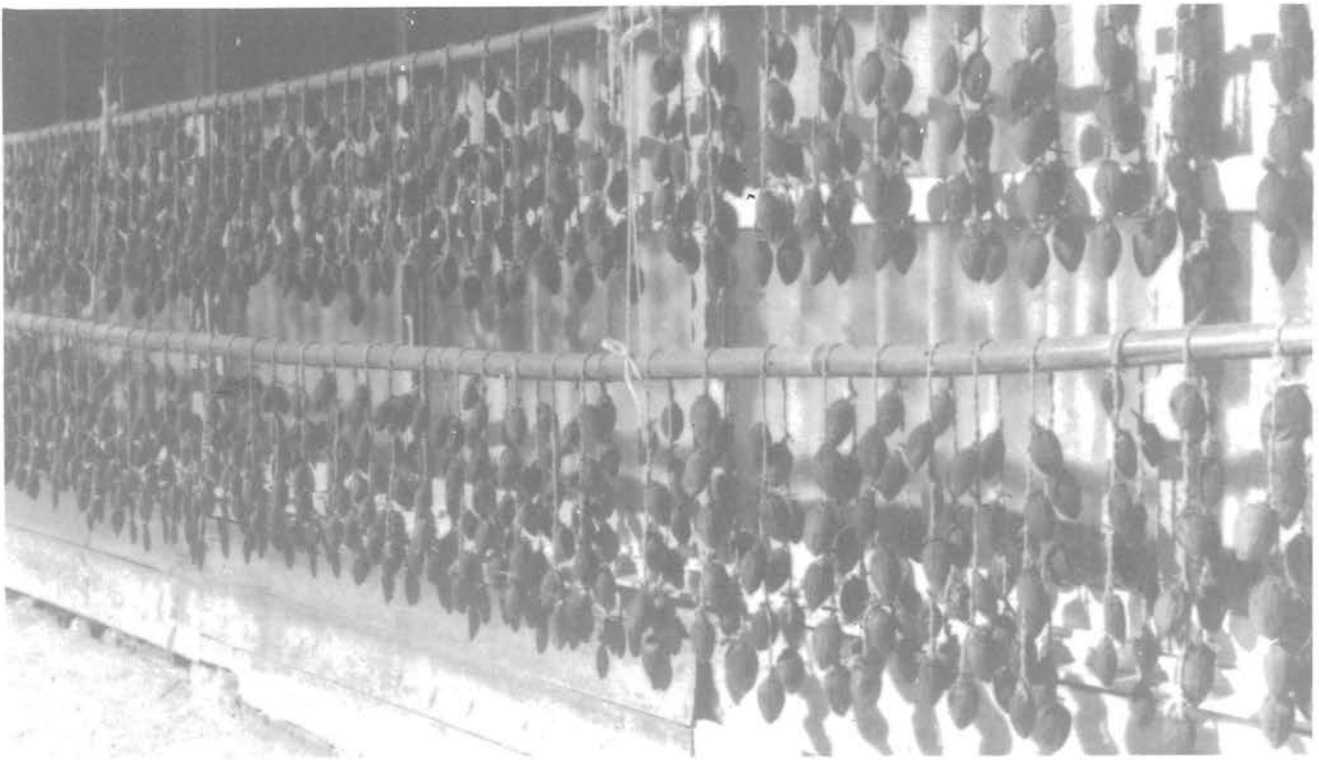
発行 / 毎月20日1回・全戸配布

広報 肱川

1989 12月



No. 81



あまほうし 科に落ちたや つるし柿 (貞徳)

今では、町内を走いても軒先きに吊るし柿が並んでいるのをあまり見かけなくなりました。

「昔は、お菓子じゃの言うものがないけん、軒に何100連もアマボシを吊ったもんじゃった、お正月にはアマボシとミカンで齢をとったものじあー。」と古老が言いました。

吊るし柿のことを方言では少し訛って、チリシガキ、ツルスガキ、チルシガキとも言います。

つりがき、ほしがき、つるしなどともいいますが“あまぼし”とは方言のひとつだと思えます。なにはともあれ、秋から冬にかけての風物詩があまり見られないのはさみしいかぎりです。

さて、皆さんのお家はいかがでしょう。

[上石丸、亀井定一さんの軒先で見かけた吊るし柿]

今月号の主な内容

＝町報＝

- ◆四国肱川皆農塾が開設……………2
- ◆第5回ふれあいまつり盛会……………3
- ◆いきいき健康まつり……………4

＝農林だより＝

- ◆共済加入者白浜方面へ……………8
- ◆木材・椎茸の市況……………10

- ◆今月の農作業……………11

＝公民館報＝

- ◆まちづくりは自分達の手で……………12
- ◆みんなのしあわせを願って……………14
- ◆リレー随筆……………14

＝福祉だより＝

- ◆歳末たすけあい実施中……………7

町民のうごき

人口 3,624人 (-10)
 男 1,749人 (-1)
 女 1,875人 (-9)
 世帯数 1,019帯 (-4)

(平成元年11月30日現在)

本当の百姓志願者集まれ

四国肱川皆農塾が開校

四国肱川皆農塾

坂根 修氏を塾長とする、四国肱川皆農塾の施設整備が進められていたが、この程完成、11月27日現地において完成開校式が行われました。

塾舎は一七八・二㎡で、集會室三室、研修生の個室が六室ある。

研究・実践に供する土地は菅野松雄氏(肱栄)前田昇氏(松山)から買入れた一・三haによる実習の場があります。

開校式には、大野町長、坂根塾長を始め関係者二十名が集まり開校を祝いました。

大野町長はあいさつの中で、農業をとりまく山村の状況は極めて厳しい。今までのことを今までの努力でやっていても駄目ではないかと思う。坂根塾長はいろいろな体験をされてきているが、この地において、いろんな実験を通して活躍をいただきたい、それらとおして、地域や町が新しい空気にふれることが

できると述べ、坂根塾長は、肱川町に来て三つの仕事の目標をもっている、①自分がここで百姓で生計をたてる、野菜をつくりニワトリを飼い、農業で立派にやって行けることの裏証。②文章を書く趣味をいかし、年に一冊程度の単行本を発行したい。

③農業後継者の育成、今までは都市の百姓志願者を育てて来たが、これからは農家の志願者も含めて農業後継者づくりに取り組みたいと熱意のあるあいさつがあり、いよいよ皆農塾が開校スタートしました。

開校に併せて、手造り鶏舎ではすでに百羽余りの鶏が平飼されており有精卵を産み始めている。集會室には塾長のモットーである『明るくなければ百姓ではない』という軸が掛けてあり、どうやれば、ほどほどに、楽しく農業が出来るかこっぴり、塾生を始め消費者との交流を深めながら、本物農業について考え

たいとしています。

さらにこの皆農塾は、都市部からの研修生受入れだけでなく有機農業、自然農法を求め考える人なら誰でもよく、町内地域の皆さんも大歓迎ということになります。

入塾費用は、一年間研修生は入塾金五万円、研修費十五万円(食事・宿泊費含む)。

短期研修生(一日限りでも可)年会費三千元、食事代一食三百円です。その他観光、農場見学など自由です。

塾長の坂根さんは、入塾とか研修などと堅苦しく考えないで、男女年齢関係なく誰でも結構、気軽に皆農塾に是非一度おでかけ下さい、健全な農業について皆さんで話し合ってみようではないですかと言っています。

お気軽に電話で皆農塾へおとい



合わせ下さい。

☎〇八九三—三四—二三五三

なお坂根修さんの著書を読みたい方は併せてご相談下さい。

「ほどほどに食っていきける 百姓入門」

「痛快、気ばらし世直し 百姓の塾」

「ブラジル物語」

「ほどほどに食っていきける 過疎地入門」

信風

わが国の白書、青書の類は三七もある。国民生活白書を見ると、食糧、家具などの支出が減り、交通々信、レジャー、教育費の上昇。ためて買うでなく買って返す。高級志向とともに安くても自分の主張に合ったものを買う意識の変化などを述べている。気になることは、人口、所得、資産、雇用、娯楽、時間、年齢間、男女別、あらゆる格差の拡大を指摘していることだ。老子は政治の原点の一つに社会格差の解消をあげ、均衡の理念を説いている。社会主義も世につれてということか。

しかし過密は土地、自然を失い、貧しきものは都会へ、富めるものは田舎への時代にもなりつつある。生活は人間の生き方、心の持ち方である。町を考える場合も同じことである。老子は単純、平凡、質樸に生きる「無為自然の道」を説く。余分なものはいらぬ。自然の懐に生きる心のやすらぎが最高のものである。都会と田舎の景気の格差をおもいつつ年の終わりに。

住む町に
心をこめる
心をみたくす

(町長)



あなたが笑うと「まち」は幸せ

第5回

肱川ふれあいまつり

今年もみんなの笑顔がとんだ

第五回目を迎えた「ふれあいまつり」は11月19日(日)肱川中学校を主会場として開催されました。

当日は寒風の吹くあいにくの天候でしたが、町内外の人達千六百人が参加し終日にぎわいました。

今回は、ふれあい事業推進協議会(川上商工会内)が実施主体となり開催しました。

イベントコーナーでは、子供相撲大会、イガ栗投げ大会、クローケー大会、カラオケ演芸大会、農業と農産物品評会、林研グループ研究成果展、ふれあい木工広場、フワフワゴリラ、ミニSL、もちまきなどが行われ、



焼肉コーナーは大混雑



ミニSLは順番待ちで大変



フワフワゴリラは人気の的



ふれあいの人波、農協のウッドコーナーは大繁盛

展示即売コーナーでは、創作館まつり、木工品展示即売、青空野菜市、木工露店市、農協露店市、小型農機展示、林業機械展示、特産品コーナー。そして飲食コーナーでは乳製品とウドンコーナー、焼肉コーナー、料飲

展示即売コーナーでは、創作館まつり、木工品展示即売、青空野菜市、木工露店市、農協露店市、小型農機展示、林業機械展示、特産品コーナー。そして飲食コーナーでは乳製品とウドンコーナー、焼肉コーナー、料飲

組合コーナーなどが設けられ盛りだくさんの行事に校庭は人また人でごったがえしました。

今回のふれあいまつりの特徴は、商工会が消費者とのふれあい交流を主なねらいとして、商工露店市を始め海と山とのドッキング城辺町(直送)活魚、海産物コーナー、フワフワゴリラ、ミニSLなどのプログラムなど、こども向けのプログラムを取り入れたことでした。これらに加えて、町内の各種団体が共催・後援して文字通り町あげてのふれあい祭りとなりました。

また、今年も愛媛の森林基金友の会の人たち二百二十人が貸切バスで参加し、まつりを一段と盛り上げました。

是非、来年もご参加下さい。

こうして、活気のみなぎったふれあい祭り、一日だけの騒ぎ



今年は町外の出店も並んで

に終わらせず、肱川町の産業・生活・文化を高めるエネルギーとし、これからの町づくりを進める、風おこし運動へと展開してゆきたいものです。

各イベント入賞者は次のとおりです。



好評、持設舞台ではカラオケ演芸大会

「カラオケ大会」入賞者

◎カラオケ大会
藤井 正(小藪)

小樽のめぐりあい

◎ふれあい祭り賞

林 きん子(八幡浜)

人生いっほん道

◎ふれあい賞

菊地まき子(宇和)

木曾路の女

上石ユリ子(上鹿野川)

滝の白糸

◎熱演賞

子茂田清子(中野)雪の華

◎歌唱賞

森岡 千景(柳)出船恋唄

◎ユーモア賞

山崎 明(河辺)片恋酒

イガ栗投げ入賞者、子供相撲大会成績表は7ページに掲載しています。

第1回 いきいき健康まつり

国民健康保険

自分達の健康は自分達で守ろう

11月19日、ふれあいまつりに合わせて、第一回肱川町健康まつりを開催しました。

これは、国民健康保険の保健施設事業として、平成元年度、国の指定をうけ、一層の被保険者の健康増進をはかるため、国からの補助をうけて実施したものです。

記念式典では、昭和63年度無受診世帯の19世帯の方を健康世帯として表彰し、記念品を贈って一年間健康に過ごされたことをお祝いました。

又、大谷地区を保健推進モデル地区とし、推進協力員として手伝って頂く10人の方の委嘱を行い、中本富志恵さんの力強い健康宣言が行われました。

式典につづいて記念講演。女流講師神田陽子氏の「人生の出合いと転機」と題した、講演をまじえての講演がありました。

当日は運悪く風の強い寒い一日でしたが、約二百人の方が集まり、盛やかな健康まつりになりました。

国民健康保険コーナーでは、一人当たり医療費と国保税の状況、地区別医療費の状況、被保険者の推移、病類別医療費の状況等のパネル展示を行いました。

その他の展示及び相談コーナーでは、

- 食生活、子供の健康づくりコーナー
 - 環境衛生コーナー
 - ヨチヨチハイハイコーナー
 - アルコール体質判定コーナー
 - 老人福祉コーナー
 - 献血コーナー
 - らくがきコーナー等
- 約、三百人の入場者には、参加賞を渡し、健康への自覚を促しました。

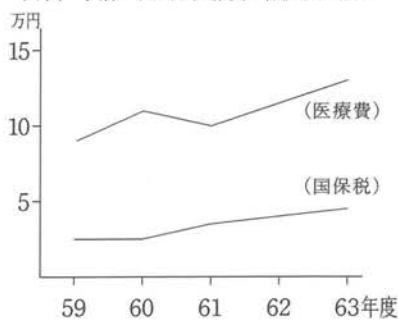


健康が1番、健康世帯の表彰



ヨチヨチ、ハイハイコーナーはお母さんがドキドキ

図(1) 国保一人当たり医療費と保険税の状況



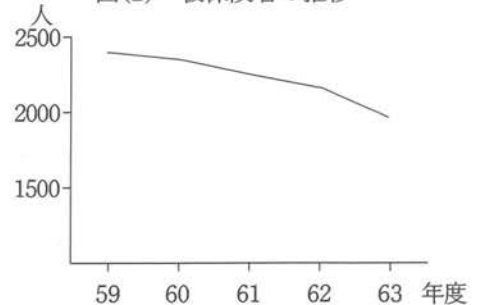
医療費の伸びと国保税

国保一人当たり医療費の伸びは62年度8.3%、63年度13.4%と共に県平均(62年度6.2%、63年度5.2%)を上回っています。

それに対し、国保税は62年度9.9%、63年度2.9%の伸びとなっています。

国保税の伸びが医療費の伸び

図(2) 被保険者の推移



を下回っているのは、特別調整交付金という、各保険者(町)の経営努力に対して交付される補助金があったためです。

(例えば、国保税収納率100%確保として600万円の補助)等。

医療費が伸びると、それに伴って国保税を上げなければ国保財政は破綻します。

国保税を上げなくてもよいように、各種検診は機会があれば必ず受けて、病気の早期発見、早期治療をはかり、「自分達の健康は自分達で守る」をモットーに明るい、住みよい町づくりをめざしましょう。

第一回健康まつりは、このような願いをこめて実施されたものです。

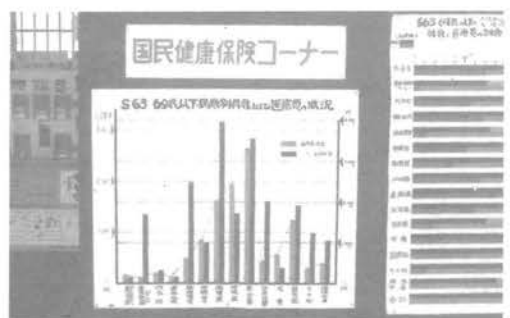
みんな元気で、明るい笑顔のあふれる町には、必ず大きな「明るい風」がまき上がることでしよう。

モデル地区(大谷)保健推進協力員委嘱者名

部落名	氏名
白石	寺岡千代子
影地	富永眞理子
広常	香川健子
"	沖野輝子
久保	前田トシ子
"	大田 恆子
大屋敷	後藤智江子
大屋敷	岡本喜美子
森	沖田光香
事務局	中本富志恵

国民健康保険健康世帯被表彰者名(世帯主)

部落名	氏名	部落名	氏名
萩野尾園	富惠	白石	中田シゲユ
道野尾岡	富善	白常	水池 恵
山榎谷	本一敏	大平	山本キクエ
嘉城	岩田フジエ	大肱	橋本正之
"	中岡義美	小薮	中岡辰己
共栄	長田芳一	"	上野 正
中居谷	藤原留雄	上鹿野川	松岡利男
"	松本西夫	菟野尾	岡和幸三
白石	竹田義隆	郷	兵頭長市
"	東 政房	以上	19世帯



医療費の状況はグラフで1目了然

小学生の部 子供相撲大会成績表

区分	学年	順位	チーム名及び選手名	参加数
団体戦	4年生以上	1	中野 I チーム	21チーム
		2	中野 D チーム	
		3	中野 C チーム	
個人	4年生	1	宮尾 尚志 (岩谷小)	22名
		2	和田 卓也 (予子林小)	
		3	中岡 哲春 (中野小)	
	5年生	1	富永 敬三 (中野小)	30名
		2	曾我 功 (予子林小)	
		3	橋本 智也 (予子林小)	
6年生	1	戸高 陽祐 (中野小)	25名	
	2	沖田 修二 (大谷小)		
	3	和気 努 (中野小)		
戦	4年生	1	清水 成仁 (〃)	25名
		2	山崎 陽平 (予子林小)	
		3	富永 大樹 (中野小)	

中学生の部

区分	学年	順位	チーム名及び選手名	参加数
団体戦	全学年	1	肱川中 F チーム	26チーム
		2	〃 A チーム	
		3	〃 B チーム	
		4	〃 E チーム	
個人	1年生の部	1	富永 航太 (肱川中)	32名
		2	上岡 茂樹 (〃)	
		3	亀岡 政勝 (〃)	
	2年生の部	1	山根 勝 (〃)	28名
		2	稲田 博信 (河辺中)	
		3	和気 淳 (肱川中)	
3年生の部	1	岩岡 広志 (〃)	32名	
	2	松本 昌悟 (〃)		
	3	内田 征洋 (肱川中)		
戦	3年生の部	1	山崎 充 (〃)	32名
		2	古野 誉 (河辺中)	
		3	浅野 誠司 (肱川中)	

イガ栗投げ大会入賞者

種別	順位	学校名	学年	他	氏名	飛距離
1・2年の部	1	中野小	2年		大野しんや	18.00m
	2	南吉井小	2年		山内ともひろ	14.65m
	3	大谷小	2年		寺岡 裕治	14.30m
3・4年の部	1	中野小	4年		富永 周作	23.95m
	2	〃	4年		堀井 清人	21.20m
	3	予子林小	4年		綿引 泰充	19.80m
5・6年の部	1	中野小	6年		武田 将晃	24.50m
	2	予子林小	6年		山崎 陽平	24.40m
	3	〃	6年		東 明秀	20.40m
中学生の部	1	五十崎中	3年		宮田	25.40m
	2	河辺中	2年		小川 知春	20.00m
	3	〃	1年		小川 博美	10.90m
高学年一般の部	1	汗生			土居 裕二	32.30m
	2	市の畦			三好 修	30.45m
	3	大和			神井 恵一郎	28.60m

20歳になったら国民年金に加入しましょう

国民年金は日本に住所のある20歳以上60歳未満の人は、一部の人を除いて全員加入することになっています。大学生は強制加入ではありませんが、希望すれば国民年金に任意加入できます。

任意加入中に、万一けがや病気で障害者となったとき、障害の程度により障害基礎年金が受けられます。このように、年金は老後の備えばかりではありません。加入の手続きは、役場の国民年金係で行っています。

交通事故非常事態宣言

昨年は、交通事故により一人を超える人が亡くなりました。今年は、昨年を上回る一万一千人の命が失われようとしています。

政府は、11月28日に「交通事故非常事態宣言」を発し、交通事故防止のために最大限の注意を呼びかけています。

つついスピードを出し過ぎたり、不精をして車の直前を横切ったりしていませんか。これから年末年始にかけて外出や飲酒の機会も増えてきます。心を引き締めて、交通事故のない明るい新年を迎えられるようご協力下さい。

交通安全 笑顔ですごそう
ゆく年くる年

自衛官募集

自衛隊では、陸上・海上・航空の自衛官を募集しています。応募資格は18才~25才未満。入隊を希望される方は、役場または自衛隊愛媛地方連絡部までご連絡下さい。

愛媛地方連絡部

0893-24-4123

肱川町役場

34-2311

看護婦さんいませんか

平成2年3月1日オーブンに向けて鹿野川役場横に、福田医院が建築中です。同医院では看護婦さんを募集しています。

仕事の内容は、外来・入院患者の看護及び介護です。年齢は20才~55才の人で7名募集されます。

必要な免許資格は準看護婦資格以上をもっている人です。勤務内容その他くわしいことについては次のところへお問い合わせ下さい。

大洲公共職業安定所
☎二四一三一九一

わが家のアイドル

山下

峻平くん (道野尾)
昭和62年8月5日生まれ
2歳5か月



お父さん 敦さん(27歳)
お母さん 公香さん(27歳)

こんにちは！アンパンマン命のちゅんべちゃんです。一歳三ヶ月の時、突然チャッコが現れてお兄ちゃんに昇格しちゃった。妹のチャッコは、時々にくたらしくなるけど、アンパンマンと同じくらい大好きでちゅい。

竹本

和広くん (広常)
昭和62年8月27日生まれ
2歳2か月



お父さん 一男さん(32歳)
お母さん 久恵さん(27歳)

わが家の王様のニックネームは「ヒロくん」です。いつも、おばあちゃんと、三輪車で遊んでいるので、もうすっかりおばあちゃん子。ちよっぴり、あまえんぼうだけども、人に迷惑をかけない、元気な子に育ってくれたらいい。と、思います。

都市生活者の「自給自足」願望を 満たす過疎地……私の実践

四国肱川皆農塾 坂根 修

坂根 修さんは、肱栄部落で「四国肱川皆農塾」を開校し、自然農法を基本とした生産活動の実践をしています。そのかたわら種々の執筆活動も手がけています。先般毎日新聞が募集した「郷土提言賞」の中で、都市生活者の「自給自足」の願望を満たす過疎地……私の実践という論文が知事賞として入選しました。

この論文は坂根さんが、日頃の思考を通して過疎地での農業にどう取り組み、どう実践しようとしているのかについて述べられています。現在の農業のあり方をどう整理し、今後の農業のあり方を考える、ひとつの



完成した 四国肱川皆農塾

問題提起として今月から三回に分けて掲載します。

◎ はじめに

「調和のとれた地球環境はバクテリアから鯨まで、藻類からカシの木まで多種多様な生命体で支えられている。何十兆個という細胞が互いに情報を交換し

ながら共同作業で一つの生命体を支えているのと同じで、異なる種が複雑にかかわり合いながら、地球全体を巨大な生命体として機能させている。

その中で人類は、生体内でのがん細胞のごとく勝手に振る舞い、地球全体の調和を破壊しつつあるのではないか。がん化した人類は自分を治療する能力を持ち合わせているか、それとも自滅の道を歩むのか。」

NHK特集・二十一世紀は警告するより

まさに人類は地球上の「がん」だと指摘されて返す言葉がない。最近は無添加食品だとか、無農薬野菜だとかに都市の人間は関心を示すがそれは皮肉な見方をすれば、『がん』自身が健康を気付かっているのである。もっと皮肉な言い方をすれば、人類が悔い改めないならば、農薬のたっぷりかかった野菜を沢山食べて狂い死にした方が地球という生命体は生き残ることができるのである。『がん』という人間が生き残って地球を滅ぼすか、『がん』という人間が死んで地球を生き残すかという選択になってしまう。

ここで人類がその英知を發揮するとすれば、それはもう、これ以上進歩しないという事である。文明の進歩は常に資源の浪費、自然環境の破壊をまねいてきた。そしてここでまた、「自

然との調和のとれた進歩」などという科学の論理によって、さらに進歩しようとしている。

いま、地球上に住む人間に求められていることは、いかに後退できるかということである。人類はその英知によって、何年時代を遡ることができるといふ勇気を求められている。

農村の思想

「明日のふるさとづくり」を考えると、決ず提案されるのは企業誘致による雇用確保の問題である。「背に腹はかえられぬ」と言ってしまうはそれ迄だが企業誘致によって小都会を大都会の延長として造りださんと考えるならばそれは常に大都会の後塵を浴び、山河はブルドーザーによって削られ、清流は工場廃水によって汚染、青年達は大都会への憧れを一層強めてふるさとを捨てる結果となるのである。

私のふるさとづくりの根源は「文明批判」にある。都会に迎合して「むら」を考えるなら、それは永遠に大都会に追いつかない徒勞に終わることは火をみるより明らかであり、その徒勞の産物は自然破壊に他ならない。また都会の魅惑の味の一端を嘗めさせられた青少年がさらに欲望をふくらませて大都会に走るのも無理からぬ話である。

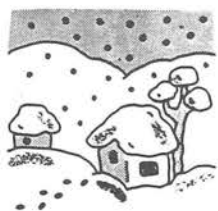
そういう点から考え合わせても今迄のふるさとづくりに向け

ていたものは「農村の思想」であって、その思想の基本が「文明批判」でなくてはならないのである。文明を正確に把握することのみによって「むら」の再生はなされるのであって、文明の過度な導入によって滅びるといふ事実を知ることが肝心である。

それならば文明批判による農村の思想を基軸としていかに生活を成り立たせるかと言えば、それは第一次産業の再生に他ならない。それは企業的な第一次産業の再生ではなく自然との調和を考えた有機的な生産である。

いま、農業では食えないと言われる。健全な第一次産業の再生など不可能だと言われるが、私は一介のサラリーマンから百姓となり、「皆農塾」という農産物の生産と共に、都会人のための農業研修の場を持つて農業の中に思想の重要性を説いている。「皆農塾は、食えないという農業の中にあって、近隣の農家を尻目に見事専業農家として成り立っているし、農業研修希望は後を断たないのである。

以下次号



ご協力ありがとうございました

平成元年度・共同募金(赤い羽根募金)実績

十月一日より赤い羽根共同募金が、全国各地でくりひろげられました。肱川町でも、町民みなさんのご協力を得て、あたたかい善意の募金が寄せられ、目標額を達成することができました。心から厚くお礼申し上げます。

この募金は、町内の生活困難な人への援護、児童、老人、身体障害者

地域でささえあう 明るいうお正月

歳末たすけあい運動実施中

この運動は、歳末にあたり、援護を必要とします「独居、ねたきり老人、心身障害者、母子、父子、長期療養者、生活困窮者」等の人々に、物心両面にわたって援護を行うことを目的としています。

運動実施期間は、十二月一日から十二月三十一日までの一ヶ月間です。

肱川町社会福祉協議会では、今年も、町民の皆さんから、あ

たたかい善意の寄付金を頂き、援護活動を実施します。

十二月十一日には、病院の長期療養者、施設の入所者を訪問、又、十二月二十七日には、募金配分会を実施して、町内の長期療養者、ねたきり病人、ポーターライン層の人々を訪問して、皆さんから頂いた善意を民生委員が代わって、伝えることになっています。

『地域でささえあう、明るい等の福祉事業に活用させていただきます。』

(1)総括表 (単位:円)

種別	目標額	実績額
戸別募金	441,000	456,722
街頭募金	60,000	72,833
学校募金	40,000	72,175
職域団体募金	45,000	47,856
大口募金	100,000	152,000
合計	686,000	801,586

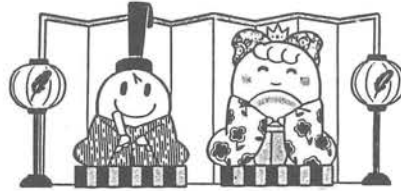
(平成元年11月30日現在)

(2)募金内訳
戸別募金

(単位:円)

部落	金額	部落	金額
小畑井	3,350	下鹿野川	27,482
萩野尾	3,450	上鹿野川	33,656
汗生	14,450	京造	3,500
道野尾	7,200	見の越	2,700
上森山	8,650	月野尾	6,750
八重栗	5,250	下敷水	6,455
山槌	10,700	敷水	8,650
協生	12,751	上敷水	500
嘉城	9,122	下嵯峨谷1	6,600
共栄	16,254	下嵯峨谷2	2,000
中居谷	22,036	上嵯峨谷	5,928
白石	9,050	菟野尾	10,720
影地	6,774	橡の木瀬	900
広常	23,200	柳	7,800
久保	15,250	郷	8,750
大平	14,060	市之畦	7,250
大屋敷	7,702	瓜生谷	9,050
森	4,900	町	10,900
肱栄	5,400	藤野原	9,390
大和	16,150	小倉	2,700
中野	34,200	中津	11,242
小薮	23,900	合計	456,722

お正月」今年の歳末たすけあい募金のスローガンです。皆さんの善意によって、全ての町民皆さんが明るいうお正月を迎えることができると思います。



青少年児童部会 開催

青少年児童部会の初会合を11月29日に開きました。

会のあり方、健全育成等について協議しましたが、具体的なことについては、次回で協議することになりました。

正・副部会長に次の方が、就任されました。

部会長 横田 方之さん
(部落長代表)

副部会長 二宮 秀一さん
(中野小PTA会長)

更生会の皆さん 中・四国大会に参加

身体障害者福祉法制定40周年記念、第16回中四国身障者福祉大会が11月11日山口市で開催され、肱川町身体障害者更生会から15人が参加しました。

開会行事後、特別講演「高杉晋作のエネルギー」と題して、作家「古川薫」氏の講演があり最後に大会決議、宣言を行い閉会しました。

日頃、県外へ出る機会が少ない会員の皆さん、大会に併せて宇佐八幡宮、赤間神宮参拝、関門橋、山口市内の見学をして研修を深め、一泊二日の楽しい有意義な旅行となりました。

社会福祉協議会へ ご芳志

社会福祉協議会に、ご寄付を頂きました。当協議会の福祉事業に活用させていただきます。

◎敷水 谷田善和さん

農協共済加入者旅行 白浜方面へ



肱川農協共済旅行 南紀白浜温泉の旅

白 浜 紀 行

和 氣 豊 子

農協では毎年行っている共済加入者旅行を今年も白浜方面とし十一月二十日から二十二日までの三日間実施した。参加された中から下鹿野川の和氣豊子さまより紀行文をお寄せ頂きましたのでご紹介致します。

山々は紅く色づき、まさに秋深しといった十一月二十日、思いがけず二泊三日の白浜旅行に参加することとなりました。午後七時、車中のとなり東予港へと向かう。二十一日、夜が白じらと明けはじめた六時、オレンジフェリーで大阪南港に到着。船の中で眠れなかったせい、和歌山県に入るまでの暫くの間は、窓からの景色を眺める余裕もなくついウトウト。

有吉佐和子の小説で有名な紀ノ川を渡り、南海湯浅道路の途中にある三千八百メートルの長いトンネルを抜けるとそこには、鮮やかなオレンジ色のみかん畑が広がっていた。紀州みかんも有名だが、味はやっぱ愛媛の

方がおいしく感じられたのは私だけだったでしょうか？やがて眼下に太平洋、山際にビニールハウスが続き、ハウスでは、かすみ草、カーネーション、菊の花の栽培や、サヤエンドウの収穫の最中でした。白浜温泉へとバスは近づき、白浜スカイラインの桜並木を通ると、淡いピンクの桜の花があらちちらで咲いていました。温暖なこの地方では、春だけでなくふだんでも桜が咲くので、不断桜と呼ばれているようです。円月島、千畳敷と見物して、洋ラン、サボテン、ブーゲンビリア等の熱帯植物の色鮮やかな美しい花の咲きみだれているハマブランカへ。ここでは、宝塚を思わせるような、華麗な踊りを目前に、うっとりとした見ながらの昼食でした。いよいよ本州の最南端岬を望む。八丈島とほぼ同じ緯度にあると聞き、とても遠い南国にきているような錯覚に陥る。さらに橋杭岩まで行く。橋の抗を打つようにして岩が立ち並んでいる姿は、海水の侵食によるものだろうが、自然のおりなす業の偉大さに驚く。夕方五時、白浜のホテルに着き、宿の人々のくす玉による歓迎を受け、牟婁の出湯といわれる含食塩アルカリ温泉に疲れた身体を癒した後は、宴会場へ。飲む程に、酔う程に、カラオケも始まり宴も

平成元年度

栗精算報告

一段と盛り上がり、やがてその余韻を残しながら白浜の夜は更けてゆきました。二十二日、温泉へ二回入り、ガイドさんに「皆さんのお肌のツヤの宜しいこと。」などと言われ、身も心も軽やかにして白浜を後にする。西国三十三ヶ所第二番札所の紀三井寺は、時間の都合で、下から手を合わせるだけで、上まで登ることができず少々心残りではありましたが、また次の機会にといいことで、和歌山県に別れを告げ、大阪の深日から淡路島の洲本まで一時間あまりの船

今年度の栗の作柄は暖冬による開花が長いことから、増収が期待されていた。その後、長雨影響による日照不足、防除適期のずれと管理条件が悪いことから前年対比七八％に終わった。

早生栗については、前年対比一八五％と好調であったが、中生、晩生栗においては一つ栗、小玉栗が多く、栗に最も大切な、七月、八月の長雨による日照不足による影響が伺える結果となった。しかし、間縮伐、肥培管理を徹底して行っていた農家では、キロ平均単価三三二円、早生栗栽培農家では、キロ平均単価四

七〇円と、間縮伐、肥培管理の必要性を見ることがとなった。

平成元年度 栗出荷実績表

支部名	計画kg	実績	昨年実績	昨年対比
鹿野川	55,755	34,009.7	39,825	85.4
小 藪	55,319	29,556.7	39,514	74.8
中 野	18,202	9,383.6	13,002	72.2
大和・肱栄	46,762	23,278.9	33,546	67.4
岩 谷	26,024	20,327.4	18,624	109.1
宇和川	130,095	71,646.0	94,068	76.2
大 谷	57,074	28,898.5	41,196	70.1
予子林	60,769	35,089.4	43,083	81.4
合 計	450,000	252,190.2	322,858	78.11

旅。渦潮で有名な鳴門海峡を、大鳴門橋、小鳴門橋と渡り四国本土へ。四十四名を乗せたバスは、二十二時、肱川へ全員無事に到着。連日好天に恵まれ、暖かい白浜は、上衣一枚ぬいでの旅でした。はじめての団体旅行で誘いあう連れもない等の出発前の些細な心配はすぐに消え、同じ町内に住む皆さんと楽しくふれあうことができ、旅の思い出も沢山できて、参加して良かったと喜んでおります。

葉枯し乾燥の効用

葉枯らし乾燥とは、伐倒後一定期間そのまま林内に放置し、枝葉が黄変し、さらには赤く枯れるまで天然乾燥させるもので、一般に「アク抜き」あるいは「洗出し」と称する特殊な乾燥処理法の一つです。

◎葉枯らし乾燥の意義

スギの葉枯らし乾燥は、少なくとも昭和二十年代まで、伐木運材の一工程として多くの林業地で行われてきました。その第一の目的は、材を乾燥させることにより集運材を容易にさせることでした。また、吉野や秋田地方で行われた「洗出し、アク抜き」は、材の色出しを図ったり、虫菌類の被害の軽減を図ることが主要な目的でした。しかし、昭和三十年代に入ってから、伐木運材の機械化の進展と樹皮の利用が低下したことから葉枯らし乾燥は衰退したといえます。

最近になって、この葉枯らし乾燥を見直す気運が高まっています。この要因として上げられることは、まず第一に生材に比べて幾分高価に販売できる可能性があるのではないかとということとあります。また、乾燥に伴う材の軽量化によって集運材コストが低減されること、さらには、消費者ニーズとして高品質

乾燥材の利用が増加しており、葉枯らし乾燥は付加価値向上策の一つとして注目されてきたことが上げられます。

国有林材ではすでに、『サンドライ』というブランド名で、乾燥材を出しています。また、上浮穴地方でも、前月から、『ニードドライ』という名前で乾燥材を出しています。

◎販売価格について

国有林におけるスギ葉枯らし材の販売事例の一部をあげると、表1のとおりです。普通材と比べると殆ど変わらないものもありませんが、材種によっては二割ほど高くなっているものもあり、特に優良材を葉枯らしするとその効果が大きいようであり

表一 国有林におけるスギ葉枯らし材の販売事例

営林署(局)	樹齢	処理月日	玉切月日	処理材価格 無処理材価格(円/m ³) または 価格比
処理：葉枯らし 樹種：スギ				
(1)秋田(秋田)	60	8月上旬	10月上旬 ~ 下旬	元玉：108%、2番玉：109%
(2)水窪(東京)	98	1月下旬	4月上旬 ~ 5月上旬	40,100/36,000(111%)
(3)新城(名古屋)		7月下旬	9月下旬 ~ 10月上旬	普通材：32,851/32,000 (103%)
(4)高知(高知)		7月中旬	10月中旬	径級12cm下：100% 13~16cm：112% 18~22cm：120% 24~28cm(元玉)：121% 24~28cm：101% 30cm上(元玉)：128% 30cm上：113% 平均：116%

また、面河村の県有林河之子事業所においても、試験的に葉枯らし乾燥を実施しましたが、その市売り実績を表2に掲げます。これも普通材と比べて殆ど変わらないものもありましたが、普通材よりも価格が下がったことは、ごく一部を除いてなかったということです。

◎伐採の方法等

伐採の方向は山側でも谷側でもあまり変わりませんが、谷側方向に倒すと葉が重なり、下積みの木は蒸散量が制限され、葉枯らしの効果は小さくなります。葉枯らし乾燥効果をより大きくするためには、伐倒木の梢端部が山の傾斜面の上方向に傾くように伐倒し、その伐り口の

表二 河之子事業所における市売り実績

(スギ)

		472回市 (8/4)			474回市 (9/4)		
		市況(A)	落札(B)	比率(B/A)	市況(A)	落札(B)	比率(B/A)
3	13上	26,000	26,300	101.1	26,000	27,166	104.5
	18上	25,500	26,838	105.2	25,000	26,914	107.7
4	13上	22,000	22,705	103.2	22,000	22,688	103.1
	18上	23,000	28,333	123.2	24,000	27,233	113.5
	30上	30,000	32,933	109.8	30,000	33,922	113.1

注 市売り時の市況と、出荷明細書より該当する規格の直材について集計したものの比較

下端は伐り株の上に乗せて土に着かないよう処置することが重要であります。枝葉が多い程葉枯らし乾燥効果が大きいことから、梢端部の枝葉は出来るだけ多い方がよいようです。従って、一般には枝払いをしないか又は、枝払いをする場合でも、六メートル程度(樹高の約三〇パーセント)までは必ず枝葉を残すことが必要であります。なお、間伐木の場合は樹高も低い場合が多く、作業の効率化の面からみても、三〜四メートル程度残せば十分であります。

一方、剥皮については、材面

平成1年度・第3回住宅金融公庫の資金等の申込受付について

(期間12月7日~1月19日まで)

1 住宅金融公庫資金関係

【回次受付分】

① 融資予定戸数… ② 選定方法…受付日順・無抽選

③ 申込受付期間等一覧表

受付期間：平成元年12月7日(木)から平成2年1月19日(金)まで。

ただし、平成元年12月25日(月)から平成2年1月5日(金)までは除く。

ご相談は、肱川農協融資課へ TEL 0893-34-2321番

の日割れや損傷防止の面を考慮すれば、皮付きのまま葉枯らしする方が得策です。

なお、ヒノキを葉枯らし乾燥すると、辺材部が変質し、ヒノキ独特の光沢を失います。これを一般に「ヤケ」と呼んでおり、ヒノキの葉枯らし乾燥を実施する場合は十分な注意が必要です。

林改 加藤



優良材生産は直材づくりから!



椎茸生産はクスギ林造成から!

肱川土場木材相場表 第526回 平成元年11月17日
県森連市より (単位才当り:円)

長さ	未口径	スギ		ヒノキ		マツ	その他
		チョク	マガリ	チョク	マガリ	チョク	
4 m	7 cm 下	本 298	本 201	本 369	本 201		松バルブ 末口 7 cm 上 長さ 1.7~1.9 m 25円
	8~10 cm 上	本 362	本 250	本 535	本 358		
	11~12 cm 上	70	—	105	—	18 cm 上 84	
	13 cm 上 18 cm 上	70 72	— —	189 196	— —	24 cm 上 116	
3 m	7 cm 下	本 143	本 124	本 162	本 124		雑バルブ 末口 7 cm 上 長さ 2 m 39円
	8 cm 上	本 181	本 170	本 242	本 239		
	11 cm 上	36	—	53	—	18 cm 上 74	
	13 cm 上(二) 13 cm 上(元) 18 cm 上	79 91 74	— — —	154 196 154	— — —	24 cm 上 91	
2 m	7 cm 下	本 —	本 —	本 —	本 —		松ハリ材 16~22 cm 3 m 91円 4 m 112円
	8 cm 上	14		14		13 cm 上 25	
	16 cm 上 30 cm 上	28 49		56 109		30 cm 上 25	
6 m	13 cm 上(二)	87		305			
	13 cm 上(元)	102		336			
特選	13 cm 上(二)	112		284			
	13 cm 上(元)	249		967			

備考 杉、檜、小径木は売れ行き好調。
柱上材は、全般に保合相場ながら、杉 4 m 中目材は好調。

肱川町森林組合乾椎茸相場表

- 市売日…平成元年11月20日
- 販売数量…26ケース 406.4kg
- 平均単価 3,044円
- 銘柄別価格

銘柄	単価	比率	銘柄	単価	比率
大厚	5,000	—	特大大葉	3,500	—
中厚	3,600	4	特用中葉	3,600	—
小厚	3,560	5	特用小葉	3,100	—
大ウス	3,690	2	大バレ	2,879	5
中ウス	3,525	10	中バレ	3,248	6
中小ウス	3,663	19	小バレ	2,890	4
小ウス	3,107	14	変形	2,475	9
ジャミウス	2,450	6	色落ウス		
冬大	—	—	色悪	1,972	16
冬中	—	—	黒子	1,000	—
冬小	—	—	その他	—	—

1.概要 秋子の足長椎茸の為、進物に使う厚葉、香信あたりの単価があまり良くないようだ。秋子の椎茸が春子に混じると単価が下がるので秋子は、早めに出荷致しましょう。



奥道後にて



太山寺参拝

肱川農協年金友の会

一日旅行お寺参りをを行う

去る十二月一日、農協年金友の会では初めての試みで一日旅行を行った。参加者は会員一五七名と農協より組合長外六名が随行し宇和島バス四台に分乗して先ず三津の太山寺を参拝、前日まで続いた寒い雨が上がり素晴らしい秋日和となり参加者は年金受給者とは思えない程の元気そのものでした。

途中バスの中ではガイドさんよりお寺の由来など説明を聞き一夜にして建立されたと言ってお堂等を見学、又鐘つき堂の鐘は、初めにつくと金が入る、出る時に鐘をつけば金が出て行くなどと面白い話もして頂いたが聞いている会員の皆さんは金の事になると真剣な顔で聞き入って居られました。

それから昼食場所奥道後へ向かい、大広間一杯に成り、先ず副会長の赤岩繁喜氏のあいさつが有り、引き続き組合長のあいさつと、尾下林太郎さんの乾杯の音頭でなごやかな雰囲気の中昼食を済ませた。

午後二時に奥道後を出発し五十一番札所石手寺へと向かった。あの有名な衛門三郎と弘法大師のお話を聞きこども全員が参拝し線香の煙で身をまぶし家内安全と健康祈願をして元気で一件の事故もなく無事肱川へ帰りました。皆さん大変に喜ばれました。皆様ご近所の未加入者へ友の会加入へのお話を頂き増々会員がふえる事をお祈り致しております。

今月の農作業

野菜

水稲

露地野菜の冬期管理

①タマネギ 乾燥すると活着や初期生育が遅れ、春先に枯死する株が多くなる。地温が一〇℃以下になると根の活動が弱くなるので、乾燥している場合は定植後畝間かん水して活着や初期生育を促す。早生品種は追肥として、12月中旬にNK化成一アール当たり2kg程度施す。

②ブロッコリー・キャベツ 3～4月に収穫する場合、年内にキャベツで15枚、ブロッコリーで20枚程度の外葉を確保することが大切である。土壌が乾燥すると生育が遅れるので、寒くなるまでに生育を促すようにする。

③ハクサイ 晩生種の場合は、結球がほとんど完了したころに外葉を包んで、肩の部分をワラやヒモでしばっておく。こうしておくと霜の被害を受けずに長持ちする。

④エンドウ 寒さには強い性質だが、強い霜や北風に当たらないほうがよいので、うねの北側にササなど立てたり、株元にワラやモミガラなどを敷いて防寒する。

コシヒカリの素顔

コシヒカリは、わが国で栽培されている品種のなかで、品質・食味とも最も高い市場評価を得、消費者から好まれています。そのため、北は福島県から南は鹿児島県まで35県以上で栽培され、昭和54年度以降連続11年作付第1位を占め、作付シェアも25%(63年22%)とシェアを高めています。

愛媛県では昭和60年度に奨励品種に採用、平成元年度には約一、一〇〇haが作付され、4年度では三、〇〇〇haを目標に、適地での面積拡大が図られようとしています。

このように、流通市場からのコシヒカリに対する強い要望に応え、コシヒカリ栽培に取り組みが各地で芽ばえてきているところです。

①形態的特性 稈長は九〇～一〇〇cm程度でやや長い。葉色は比較的淡く、葉幅はやや広くて立ち、分けつの切り上りが良く、特に穂揃いが良好である。玄米はやや小型でよく揃い、心白及び腹白は少なく、品質は良好で精白歩合も高く、食味は極良い。

果樹の管理

畜産

一、キウイフルーツの整枝剪定 整枝剪定の時期は落葉後から2月上旬である。

整枝の留意点は、負け枝(親枝より子枝が強くなる)をさせないことである。そのため徒長枝を残さない、側枝や結果母枝を同じ位置に残さないよう、片方五〇～六〇cmの間隔で交互に枝を残す。

剪定では、良質な結果枝の発生を促すため、母枝の先端を三分の程度切り返すが、その程度は枝質により加減する。亜主枝や側枝は古くなると基部がはげ上がるので計画的に更新する。

二、栗の元肥の施用 元肥の施用時期は一月中旬が適期である。施肥量は、樹勢樹齡で異なるが、単収三〇〇kgで愛媛くり肥料七〇kgを基準にしている。なお、土づくりを兼ねて堆肥又は鶏糞を施用する。

三、ゆずの害虫防除 ハダニ類・カイガラムシ類防除のため機械油乳剤を十二～一月の暖かい日に散布する。ハダニ六〇倍、カイガラムシ四〇倍。

四、ゆずの防寒対策 落葉、寒害防止のため防風布、コモなどによる被覆を行う。

(冬期の増飼い)

冬場になると栄養のロスが起る。毛が逆立っているのは、養分が不足しているためなので1～2割の増飼が必要。

(舎内の空気汚染)

牛の呼吸量は人間の10倍もあるため、舎内を密閉しすぎると、排出する『炭酸ガス』、糞尿からの『窒素ガス』、『メタンガス』、『その他粉塵』など空気の汚染が問題になってくる。

空気の汚染は、乳牛へのストレスになるとともに、真空調圧器やティートカップから汚染された空気が流入し、牛乳の風味を損ねる。牛舎に入って、異臭を感じる場合は、換気・通風に注意する。

(微量要素) 粗飼料条件が悪くなるため、冬場は、ビタミンや微量要素が欠乏しやすい。特にビタミンAは、他のビタミンのように第1胃内で合成されないため、ビタミンAの飼料添加等注意が必要である。

1月集配予定

- 1月9日(火)宇和川北方面
- 1月10日(水)岩谷方面
- 1月11日(木)宇和川南方面
- 1月16日(火)野尾・小藪方面
- 1月17日(水)中津・予子林方面
- 1月18日(木)大谷方面
- 1月23日(火)宇和川北方面
- 1月24日(水)岩谷方面
- 1月25日(木)宇和川南方面
- 1月30日(火)野尾・小藪方面
- 1月31日(水)中津・予子林方面

1月醬油配達予定日

- 1月12日(金)岩谷・小藪方面
- 1月19日(金)宇和川方面

1月LPGガス 配達予定日

- 5日(金)上石丸・師走野・下小藪・中野
- 8日(月)藤野原・町・瓜生谷
- 10日(水)八重栗・上森山・大成
- 谷・百ヶ市・正山
- 12日(金)久保
- 16日(火)嵯峨谷・見の越・月野尾
- 京造
- 18日(木)広常・影地
- 19日(金)中津・小倉
- 20日(土)森・朧榮
- 硯・久下・樋野口・上汗生
- 22日(月)白石・上小藪
- 25日(木)中居谷・嘉城・瓜哇・カサガケ
- 道野尾・赤岩・下汗生
- 27日(土)大駄場・柳郷
- 30日(火)下・中・上敷水・菟田野尾

小つさなことから始め

町の未来を考える

凡人未来塾

肱川町では只今「風おこし運動真只中。町内では今年、地域おこし、町づくりグループが誕生し、ユニークな活動を展開しています。そこで今回は、四月に町内の若者十五人によって誕生した「肱川凡人未来塾」(川上富士雄塾長・現在会員十八人)をご紹介します。

肱川凡人未来塾が誕生するきっかけとなったのは、昨年八月の夏まつりに開かれた「大丸太漕世界選手権大会」の時、町内有志が三万円を出資して作成販売した大丸太漕ぎデザインTシャツでした。Tシャツ作成の打合せや販売をしていくうちに「Tシャツだけで終わるのでなく、町の将来を考えるグループをつくってはどうか。…」との話が持ち上がりました。そこで思いを同じくする同志での活動グループの結成をと、何度かの準備会を重ね四月七日の旗揚げとなりました。

会員は、飲食業、酒造業、町職員と職種もいろいろで平均年齢も三十歳代の青年グループが誕生しました。現在では女性塾生も加わり、塾内も明るく和やかになりました。



町づくりについて研修した(帽子が安藤さん)

した。塾のモットーは「したたかに、そして楽しく。」とにかく考えるよりもまず行動を、そして町を元気にしようという熱き想いを抱いています。

塾のイベントとして、今年四月の花まつり期間中の四月二十三日、丸山公園のしゃくなげ谷入り口で子供向けのミニイベントを開設。当日は草もち、たこ焼き、ダーツ射的、さらに着物姿の茶娘による番茶の接待も行い、ジャクナゲの

花見客に喜ばれました。第二弾は、今年八月に鹿野川湖で開かれた全国高校総体漕艇競技の記念Tシャツ千八百枚を作成し総体で当町を訪れた選手や町内外のみなさんに販売しました。

また、このTシャツの一部(百二十枚)は大洲市市木の福祉施設(大洲学園)に「運動会などに活用してもらおう」と寄贈しました。

その他、八月十五日の正山風まつり参加、十月には国道一九七号線のクリーン作戦も展開しました。

今年の六月には県事業の生活文化若者塾を凡人未来塾が受け入れ、その事業の一環として、十月十九日に、町長との懇談会を開きました。「肱川町の町づくりの現状と課題」をテーマに肱川町の町づくり、一億円の有効利用、町営団地計画、河辺川ダム問題などについて町長と塾生が語り合いました。

町長の町づくりや河辺川ダム問題に対する基本的な考え方など、直接意見交換ができたこと、そして塾として今後の研究課題を見い出したことなど有意義な懇談でした。

また、十一月二十二、二十三日

の二日間、生活文化若者塾の研修事業として、広島県作木村へ塾生十一名が参加しました。作木村での研修は、過疎を逆手にとる会の代表者である安藤周治さんと交流しました。マイナスをプラスに切り返しての町づくりをめざす過疎を逆手にとる会は、北海道から南は鹿児島まで三八都道府県から三百二十人の会員。ネットワークは二十人に及び、年齢も二十歳代から八十歳代、職種も農・商・工業と多種多様な顔ぶれのメンバーを有しています。

今回の研修では、全国の仕掛人や町づくりリーダーと活動されている安藤さんに町づくり、人づくり、イベントの仕掛などのノウハウを聞き、それを今後の塾活動に役立てようというねらいでした。六時からの交流は、型に入ったものでなく、膝を交え、鍋をつつきながら、肱川から持参した「風の里」を飲みながらの和やかなふんいきで始まりました。そして安藤氏のメンバーである隣村・島根県羽須美村の小田さんが特別に参加してもらい、お二人と交流ができ、素晴らしい日となりました。翌日は、安藤・小田さんの好意により、作木村を視察しました。作木村では五十億円を投じた江の川の護岸工事、そこで見たものはコンクリートブロックで埋め尽くされ、無残な景観と化した江の川でした。護岸工事が計画された時、その

工法に反対する住民運動を起こし、建設省と協議したにもかかわらず、ついに町や住民の意見は通じなかったといえます。

次に羽須美村に立ち寄り、自然回帰の里「はすみ」を小田さんの案内で視察しました。この施設は都市の人々との交流の場として、二年前に建設され、スポーツ合宿や研修、休養にと広く活用されてきました。

今回の研修では、安藤周治さん、小田博之さんに会って励ましや刺激を受けました。お二人の意見を総合すると、「町づくりは自分がどれだけ変わるか、自分が変われば相手も変わる。そしてまちが変わる。そのためには「交流」「旅」が大切なプログラムである。また、自分達が楽しみながら、いろんな人を取りこんで思いっきりやること。とにかく行動を起こすこと。そして自分たちの夢を実現してい



作木村を視察

く、それがコト興しだ」と話されました。

脇川の凡人未来塾は今年の四月にうぶ声をあげたばかりです。でも私たちが生まれ育ったこの町を大事にしたい、そしていつまでも子供たちや町の人の人たちの歓声が町中にあふれ、この町に住んでいて良かったと思える町であってほしいのです。この思いはみんな同じだと思います。

そのために、私たちに何かできることはないか、大きなことでな

公民館を研修して —中野小4年生—

その感想文が届きましたので紹介します。

中野小四年 大西 由希子
公民館のみなさん、研修をさせていただきますって、ありがとうございますました。

わたしたち四年生は、あの後、地図や、感想を書いて、見学のま

く、小さなことから始めよう、そんな気持ちでこれからも活動していきたいと考えています。今後は、いろんなグループとの交流や研修事業、ボランティア活動なども予定しています。あせることなく、私たちにできることから一つずつ取り組んでいきたいと思っています。ご教示・ご指導をお願いいたします。

なお、活動を共にしてみようと思われる方大歓迎します。

(凡人未来塾生より……)

年間約三万人のみなさんが、公民館を利用しておられます。十月二十五日には、中野小学校の四年生が研修に訪れました。施設の紹介や活動の説明しましたが、子供達は熱心に研修しました。



公民館見学のまとめを発表

購入図書

親離れできれば生きることには楽になる
加藤 諱三

母親はなぜ息子育てが下手か
五味 常明

親が育つ子も育つ
山崎 万里

おかしな子育ておかしな教育
佐藤 守男

お母さん、これ買って
天野 寛子

百姓の一筆
田中 佳宏

農業の話 ウソ、ホント
植村振作他

有機農業の事典
竹熊 宜孝

田舎一揆
松下幸之助

夢を育てる
高賀富士子

明るく生きなきや損よ
高賀富士子

みのむしばあさん看病記
伊藤 昭

人生の親戚
大江健三郎

税金がわかる本
渡辺 昌昭

国保が人を殺すとき
西館 静夫

四十代の幸福
俵 萌子

ぼくが医者をやめた理由
永井 明

坂本龍馬脱藩の道を探る
村上 恒夫

風の世界
吉野 正敏

風の旅・心の地図
三好 徹

明日の地方自治
坂田 期雄

松山城は残った
松友 正隆

私の手作りNo.8
松野 猛編

原色日本切手図鑑
松野 猛編

白本郵便協会

受賞

桜の樹の下で
渡辺 淳一
四万十川
笹山 久三
人生余熱あり
城山 三郎

岩谷幼小PTA大会 県PTA大会

十一月二十二日の県PTA大会で岩谷幼小PTA(竹森高幸会長)が優良PTAとして、県教育長、県PTA連合会長から表彰を受けました。

おめでとう

男女バドミントン 南予大会優勝

- (男) 松本 隆寿さん
三井 稔さん
- (女) 和気マサ子さん
奥田 重美さん

優勝

ふれあいまつり クワッケー大会

- 六十五才以上の部
- 東 松代さん
- 内田コトヨさん
- 山岡ヒナ子さん
- 年齢制限なしの部
- 浜田 雅子さん
- 兵頭 笹子さん
- 兵頭コサトさん

ファイダー



「欲しい 図書館」
早いもので、いつの間にか美しかった紅葉も散り、夜の長い冬の季節を迎えました。「読書の秋」と申しませんが、私は「読書の冬」と云うほうが好きです。こたつに入って、テレビを消して、

冬の夜長を読書に浸る。秋よりも冬の方が、読書の量は増えるのです。

公民館の蔵書もいつの間にか増え、二万冊を越えました。図書室は、もう何年前にいったいになり、向かいの部屋、談話室の壁面もぎつりりと埋めています。公民館の隣に保健センターが出来て、講義室の一部を通路にしたらは、その部屋も第二図書室に使用し、そこもすでに壁面は本でぎつりりという状況です。次は何処へ本を並べようかと頭を悩ましてるところです。

年間八十万から百万円の少ない図書購入の予算ですが、それでも三百冊から四百冊の図書が新しく入って来るのです。もうぼつぼつ図書館を考えていきたいと思えます。

図書館はその町や村に住む人の文化の水準を現し、自治体の文化に対する理解・熱意を示すものだと云われます。今、風の町「ひじかわ」に必要なのは図書館！
町立図書館建設への皆様の理解と支援をお願いします。
K

みんなのしあわせを願って(12)

中山英一先生の講演から 同和教育推進主任 大宇根秀夫

県同和教育研究大会の全体会で、全国同和教育協議会常任委員の中山英一先生が講演されました。二時間半にわたり、部落差別解放への熱い思いを語られました。今も、その感動が残っています。ほんの一端ですが、この紙面をかりてご紹介したいと思います。

中山先生の少年時代、それは差別の毎日だったそうです。

「ちょうり」といふのは、中山先生のおられた地方で、同和地区の人たちを差別する時に使われてきた言葉だそうです。ちょうりと言われると爆弾を受けたくらいショックを受けたと語られました。

その中山先生を支え続けたのは、友達でもない、学校の先生でもない、母やん(母親をそうよんとい

た)だったそうです。母やんは、差別のため学校へ一日も行けなかった。だから、字も書けなければ、読むこともできない。けれども、母やんは母親として一番大切なものを身につけていた。一つは、たくましさ。困苦、欠乏に耐えることができた。二つめは、やさしさ。他人に対し親切でいていいであった。三つめは、かしこさ。テストの点数で表すかしこさでなく、自分の運命を自分で切りひらくかしこさがあった。母やんは、貧乏だからといって、仕事がつらいからといって泣き事を言ったことは、一度もなかったそうです。その母やんが、差別でくじけそうになると、私を認め励ましてくれた。それが、私を支えた原動力だったと話されました。

しかしながら、その母やんも、ちょうりのことになると立ち往生してしまふ。「ちょうりってなに、なんでみんなにばかりされるん。」と聞くと、あのたくましいはずの母やんがめろめろになり、答えられなくなるのだそうです。ある日、厳しく問いつめると、「涙を流しながら抱き寄せ、「おらにも、わからん。」と答えられたそうです。

同和地区は、つくられたものでも、差別を受けるいわれなどどこにもないのです。こんなにも差別を受け、苦しい生活を強いられるにもかかわらず、その理由がわからないと言われた母やんの気持ちを感じるとうと、私は何も言えな

なってしまう。多くの人が、差別に負け、ぼろぼろになっていった現実を見てこられたそうですが、中山先生は、二十歳の時、自らが解放される糸口をつかんだと語られました。一つは、先ほどの母やんの励まし、もう一つは、本気で学習したことだそうです。「ちょうり」とは何か、人間とは何か、差別とは何かについて学習した。教育・学習は、人間をかえることができる力強く語られました。三つめは、差別とは何かについて、今までは自分が悪いから差別されると思っていたけれども、そうではなくいかなる理由があるろうとも、「する」人間が悪いということが理解できたことだと語られました。差別される人間ほど正しいということ。

中山先生のお兄さんは、差別のためふるさとを捨て、職業をかえ、名字もかえ、兄弟の縁まで切って、今も自分が同和地区出身者であることを隠し続けて生活していらっしやるそうです。子供にまでそのことを隠している……。そうさせているものは何でしょうか。それは、まだまだ現実には、強く巨大な差別が社会の中に満ちあふれているということではないでしょうか。

こういう問題がなくなる限り、真の解放はあり得ないと語られました。真の解放とは、我が子に同和地区出身者であるということとを何のためらいもなく、胸はって語ることが出来る社会になると

いうことだと思えます。まだまだ語りつくせませんが、

中山先生の講演の一端を紹介させていただきます。

結婚して十八年、二男二女の四人の子育てに明け暮れていたら、自分だけ取り残されたような気が致します。

子育ても、子供達が小さい頃の四、五年が一番大変でした。六月の田植の時期の苦労がいつも思い出されます。三反歩に足らないのに、一人で苗をとって植えるので二十日は十分かかりました。朝夕、主人が「しろかき」をしては、広い田には二、三日かかり植えていましたが、子供達もよくしたもので、母親の目の届く、声の聞こえる所で遊んでくれました。子供達が大きくなるにつれて、田植にかか

ぶんありました。子供が四人いれば、食事時が一番楽しくもあり、一番忙しい時でもありました。みんなで一日の出来事をワイワイガヤガヤとおしゃべりをして、私にとっては、子供の話聞く心休まる時です。この頃は、みんな大きくなりそれぞれの道を少しずつ歩み始めています。

歩み始めています。取り残されないように、しっかりと上手に子離れをしていきたいと思えます。

リレー随筆

子育て(205)

予子林 橋本俊子



十日と早くになりました。

子供達が学校へ行き始めると、学校の先生方は私にとって素晴らしい先生でした。小さい学校の下さかもしれませんが、何でも相談のつて下さり、育児ノイローゼにはかかるところか、子供達に教えられることがずい

のお母さん方には随分助けていただきました。今でもお母さんかお姉さんのように思うことがあります。私たちの道しるべであると思えます。

子育ても測ってみると

六合目

お年寄りと子供の談話室

— 大谷小学校 ↔ 大谷老人クラブ —

大谷小学校(徳永満男校長、三十六人)と大谷老人クラブ(中塚芳則会長)では、「お年寄り」と子供の談話室を十一月十七日に開きました。

これは、昔の遊びや交歓会を通して、お年寄りと子供の触れ合いを深め、思いやりの心を育てようというねらいです。当日は、全校児童・園児に先生方・老人クラブ会員・保護者など約九十名が参加しました。

児童会長の歓迎のあいさつの後、一学年から一名づつが感謝の作文を発表しました。続いて真心交換と題して、子供達から、紅白もちや手作りの石人形・状さしなどをプレゼント。これに対してお年寄りも「学校生活に役立ててほしい」と竹ぼうきとぞうきんを贈りました。

交歓会では、子供達から紙芝居や手品・吟詠や合唱を披露し、老人クラブの都谷文雄さんからも昔の話面白く、楽しく聴かせてもらいました。

その後、昔のおもちゃ作りで、男子は水鉄砲や紙鉄砲、女子はお手玉づくりに挑戦し、楽しく有意

義な半日を過ごしました。六年生の大塚正樹君の感謝の作文を紹介します。

今日は、ぼくたちのために来ていただき、ありがとうございます。



お年寄りもたくさん来てくれました

た。それに、たくさんぼうきをいただきます。おみやや、お寺のそうじなど、ごころうさまで。それを見て、ぼくたちも、おじいさんやおばあさんを、見ならわなさいといけななあと思いました。今まで、おかしのカスや、あめのカスなど、道路にすてていたけど、これはいけんと思えました。ちょっとしたことだけど、みんなまもれてないのではありません。そうすること、大谷ももっと美しくなると思っています。ぼくたちも、もつ

とべんきょうすることがたくさんあります。まだおじいちゃんやおばあちゃんたちについていけないけれど、ぼくたちなりにがんばっ

ありがとうございます

感謝集会

十一月二十日、正山小学校(宮部博文校長七〇名)で児童会の手による『感謝集会』が開かれました。これは、日頃児童達が、学校や地域でお世話になっている方々へお礼の意味での感謝集会です。招待されたのは、大本前教育長さん、安川PTA会長さん、給食センターの寺尾調理員さん、泉分館長さん、谷本長寿会長さん、安川正則さん、谷本良知さん、上田建設橋本専務さん、曾我宇和川駐在所さん、宮部校長先生の十人とお父さん、お母さん方です。

一年生から六年生まで順番に合唱や合奏の合間に、代表の児童達が感謝の作文を朗読しました。そして、児童全員がお父さん、お母さんへ手紙を渡しました。

最後に大本前教育長さんから、児童へお礼の話がありました。

その中で、みなさんは、先生やご両親、地域の人達、みんなに支えられて生きているが、そのことに気がついたことが素晴らしいこと。

みなさんが一生懸命働いたり、

ていきたいと思えますので、見守っててください。いつまでも元気で、学校にもあそびにきてください。

正山小学校児童会



お礼の演奏……

勉強したりする姿を見るのが大好きです。

今年学校の建築で不便な学校生活だけど、その中でみんなが体験できない大きな勉強ができた。

さらにみんなが立派に成長して、くれることを最高に願っている話され、なごやかなふんいきの内に終了しました。

感謝の作文の中から安川正則さ

んへのものを紹介します。

安川さんへ

太鼓をいただいたり、いねのお世話をしていただいたりしてありがとうございます。学校に太鼓があるのでどんなときでもたたけます。

正山の風のまつりでは、初めて太鼓がたたけました。

いねは、田植えやいねかりまでお世話してくださいました。また、いなきを作っていねもおとしていただきました。多分おいしいおもちができると思います。

いねかりをしたことのないぼくらにいねが育つまでいろいろなことを教えてくださいました。ぼくは、なえを植えたとき、いつ大きくなるのかなとか、かれないのかなと心配しました。でも、安川さんのおかげでいねは、じょうぶに育ちました。ありがとうございます。

これから、安川さんに教えていただいたことを、生活に役立てたいと思います。

ぼくたちは、安川さんにまけないようにがんばりたいと思います。安川さんも長生きしてがんばってください。

五年 吉田 哲哉

安川さんをはじめ、地域の方々から返事や反響がたくさんありました。

1月の日曜・祝日当直医

日	当直医	電話
1日 (月)	清家産婦人科医院 (大洲市東大洲)	24-6868
	松浦十医町 (五)	44-2776
2日 (火)	泉内科医院 (大洲市東大洲)	24-6407
	藤本十医町 (五)	44-2561
3日 (水)	松元産婦人科医院 (大洲市東大洲)	24-3067
	植木十医町 (五)	44-2215
7日 (日)	石川内科医院 (大洲市若宮)	24-3306
	高橋十医町 (五)	44-2010
14日 (日)	菊原外科医院 (大洲市若宮)	24-4646
	佐々木整形外科 (五)	43-0101
15日 (月)	石村整形外科医院 (大洲市若宮)	23-5767
	曾根子医町 (内)	44-2801
21日 (日)	大洲記念病院 (大洲市徳森)	25-2022
	芳我内子医町 (内)	44-2560
28日 (日)	郷緒小児科医院 (大洲市西大洲)	24-3936
	堀川子医町 (内)	43-0555

※変更になる場合がありますので前もって連絡してからお出かけ下さい。

救急病院

曜日	病院名	電話
月・火	大洲市立病院 (大洲市大洲)	24-2151
水	加戸病院 (大洲市若宮)	24-5101
木～日	大洲中央病院 (大洲市東大洲)	24-4551

年賀郵便物の消印省略について

十二月十五日から一月七日までに差し出されたお年玉付年賀葉書及び表面の見やすいところに「年賀」と朱書された一般官製葉書については、全て消印を省略いたします。

しかし、十二月二十九日から一月七日までに差し出されたもので、当日の日付印で消印を希

あんなこと
こんなこと

地域での行事や、ほほえましい出来事などありましたらお知らせ下さい。お伺いして取材し、広報や放送で紹介したいと思っております。

電話で結構です。
☎ 三四一三三一
役場広報係まで

保健・衛生

◎乳幼児健康診査

日	日程	場所	受付時間
1月10日(水)	保健センター		午後2時～

離乳食の試食会もあります。

◎健康相談

日程	場所	時間
1月18日(木)	正覚集会所	午前11時～
1月26日(金)	岩谷公民館	午前11時～
	中居谷集会所	午前11時～
	敷水集会所	午前11時～

◎健康づくり料理教室

日	日程	場所	時間
1月12日(金)	共栄集会所		
1月17日(水)	岩谷公民館		午前10時～
1月19日(金)	小藪集会所		午後2時
1月23日(火)	正山公民館		
1月24日(水)	大谷公民館		

◎1月の不燃物収集

▽収集日 1月16日(火)
(出すのは1月15日中に)
▽収集地区
小畑井・萩野尾・汗生・小藪・大和・脇栄・中野(篠谷を除く)・大谷・鹿野川地区

◎不用犬回収日

▽日時 1月16日(火)
午前9時まで
▽場所 保健センター
※印鑑をご持参ください。

相談ごと案内

◎相談ごと案内

▽時間 午後1時30分～4時30分
▽場所 脇川町公民館

相談日	担当相談員
1月5日(金)	福田美喜子 保
1月22日(月)	坂西願寺睦江 恵子

◎行政相談

▽日時 1月5日(金)
午後1時30分～4時30分
▽場所 脇川町公民館
▽相談員 福田 保委員
※自宅相談も受け付けています。
☎ 三四一三五〇八

郵便局だより

望される場合には、消印いたします。お申し出下さい。そのため、一月八日以降につきましても消印されていない年賀状が配達される場合もありますので、ご了承下さい。

☆☆☆☆☆
お誕生おめでとう
いっさいます
☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆
大和 富永 秀昭さん
長女 貴子ちゃん

☆☆☆☆☆
ごめいふくを
お祈りいたします
☆☆☆☆☆

数水 谷田三喜代さん (72歳)
上森山 石河 民江さん (86歳)
見の越 城戸オワキさん (87歳)
柳 森岡富士雄さん (88歳)